

科学技術・学術分野における女性の参画拡大について

国立教育政策研究所（前）所長 常盤 豊

政府では女性活躍加速のための重点方針を毎年定め、あらゆる分野での女性の活躍、及びそのための基盤整備を求めている。特に、理工系分野では、女性研究者・女子学生の割合が低いなかで、女性研究者の活躍促進に向けた環境整備、女子生徒の理工系分野への進路選択の促進が課題として提起されている。一方、産業構造が急速に変化するなかで、数理・データサイエンス・AI教育の履修環境の整備も課題とされている。

こうした社会的要請の高まりのなかで、政府や大学がどのような取り組みを進めているかを示すことで、本シンポジウムにおける応用物理学分野での議論を深めるための問題提起としたい。